

# 富士フイルムグループの環境パフォーマンス

## 環境パフォーマンス連結データ

項目	単位	2001	2002
廃棄物発生量	千トン	-	81.3
焼却・埋立廃棄物量	千トン	-	5.7
VOC大気総排出量	千トン	-	2.2
CO <sub>2</sub> 排出量	千トン-CO <sub>2</sub>	1017	1055
水の投入量	百万トン	56	63
水の排出量	百万トン	-	56
水の循環使用量	百万トン	-	0.013
SO <sub>x</sub> 排出量	トン	472	398
NO <sub>x</sub> 排出量	トン	922	1015
ばいじん排出量	トン	20	28
COD排出量	トン	231	238
総窒素排出量	トン	-	310
総リン排出量	トン	-	7

2001年のデータは下表青色の会社のみの集計データです。

### データ連結対象会社

国内		海外	
生産会社	富士ゼロックス株式会社	アメリカ	Fuji Photo Film, Inc.
	富士写真光機株式会社		Fuji Hunt Photographic Chemicals, Inc.
	富士機器工業株式会社		FUJIFILM Microdisks U.S.A., Inc.
	富士フイルムアーチ株式会社	オランダ	Fuji Photo Film B.V.
	富士フイルムフォトニクス株式会社	ドイツ	Fuji Magnetics GmbH
	富士フイルムマイクロデバイス株式会社	イギリス	FUJIFILM Electronic Imaging Ltd.
	富士マイクログラフィックス株式会社	ベルギー	Fuji Hunt Photographic Chemicals, N.V.
非生産会社	株式会社 フジカラーサービス	シンガポール	Fuji Hunt Photographic Chemicals Pte Ltd
	フジカラー販売株式会社	中国	蘇州富士フイルム映像機器有限公司
	富士フイルムロジスティクス株式会社 <sup>*1</sup>	アメリカ	Fuji Photo Film U.S.A., Inc.
	富士テクニクス株式会社		FUJIFILM Medical Systems U.S.A., Inc.
	富士フイルムアジア株式会社	カナダ	Fuji Photo Film Canada Inc.
	富士フイルムメディカル株式会社		Fuji Graphic Systems Canada Inc.
	富士マグネディスク株式会社 <sup>*2</sup>	ドイツ	Fuji Photo Film (Europe) GmbH
	富士フイルムビジネスサプライ株式会社	ブラジル	Fuji Photo Film do Brasil Ltda.
	富士フイルムバッテリー株式会社		
	富士フイルムソフトウエア株式会社		

<sup>\*1</sup> 2003年4月1日に、富士フイルムロジスティクス株式会社と富士ゼロックス流通株式会社が合併し、新たに富士フイルム ロジスティクス株式会社としてスタートしました。集計データは2002年度の富士フイルムロジスティクス株式会社のものです。

<sup>\*2</sup> 2003年7月1日付けで株式会社富士サービスと統合し、株式会社富士フイルムテクノサービスに社名変更しました。集計データは2002年度の富士マグネディスク株式会社のものです。

### 氷蓄熱システム

電力消費の少ない夜間の電力を利用して水を作り、昼間の冷房等に利用するシステムです。電力使用のピーク時に電気の消費を抑えることができ、省エネにつながります。また、副産品として夜間電力を利用することによる省コストも図れます。

## グループ会社の環境活動事例

### 富士ゼロックス

富士ゼロックスではCO<sub>2</sub>排出量削減努力の一環として、研究所(神奈川県)で4基目の氷蓄熱システムを稼働させました。このシステムは省エネルギー効果に優れているのが特徴です。また、日本自然エネルギーとの契約に基づき、年間170万kWhの風力電力を利用し始めました。発電用風車は秋田県側の十和田湖畔にあります。一方、6年目を迎えたニュージーランドでのユーカリの植林は、総面積が延べ1万ヘクタールに迫りました。大気中のCO<sub>2</sub>吸収量は7万トン以上と推定されます。2004年以降は伐採して複写用紙のバルブ原料に利用し、自然林の保護に役立てています。

### 富士写真光機

富士写真光機では、地球温暖化やオゾン層の破壊及び健康被害の防止の観点から、VOC(揮発性有機化合物)の大気排出量の削減に取り組んでいます。VOCから他の材料への代替、自動洗浄装置の集中稼働等を行い、2002年度期首目標の対2000年度比20%削減という目標を達成しました。今後VOC削減の取り組みを継続するとともに省エネルギー、ゼロエミッション等も推進します。

### Fuji Photo Film B.V.

オランダにある富士フイルムの欧州生産拠点Fuji Photo Film B.V.では、1997年12月に認証を取得したISO14001の継続的改善に取り組んでいます。具体的には、“SEA”(Significant Environmental Aspects)と呼ばれる化学物質の管理、廃棄物の削減、エネルギーなどの7項目の改善策を講じています。

今後の計画として、省エネ効果の高いシステムへの更新・拡張や投資回収期間の見直しなどを含めた持続可能な施策を検討しており、最終的には年平均0.8%ずつエネルギー消費量を削減し、2012年には合計10%削減を目標としています。



### 富士フイルムフォトニクス

富士フイルムフォトニクスでは、産業廃棄物の100%リユース・リサイクルを目標に掲げ、取り組みを進めてきました。その結果、従来埋立処理していた、分別が困難な金属とプラスチック複合材料のリサイクル用途を新たに開拓する等

して、2002年度中に目標を達成しました。更に2002年末までには一般廃棄物も含めたゼロエミッションを達成すべく、活動を展開中です。現在は環境目標に、生産用廃棄物の削減、電力等のエネルギー消費量削減、化学危険品使用量の低減等を設定し、取得後のステージアップに工場全体で取り組んでいます。

### 蘇州富士フイルム映像機器有限公司

経済成長が著しい中国は、環境問題への取り組みにおいても大きく変化しています。蘇州は、市自体がISO認定を受けていることやISO認定企業数の多さから、中国トップクラスの環境保全都市を自認しています。「蘇州富士フイルム映像機器有限公司」では、富士フイルムレスボンシブル・ケア方針にそって環境方針を掲げ、ISO14001認証取得に向けて活動を開始し、2000年10月に認証を取得しました。現在は環境目標に、生産用廃棄物の削減、電力等のエネルギー消費量削減、化学危険品使用量の低減などを設定し、取得後のステージアップに工場全体で取り組んでいます。



### Fuji Photo Film, Inc.

Fuji Photo Film, Inc. はアメリカ南東部グリーンウッドにて、カラーネガフィルム・カラーペーパー・PS版・グラフィックアートフィルム・VHSビデオテープ・コンピューター用バックアップテープ・FUJICOLOR QuickSnap(写ルンです)・医療用Xレイフィルムといった製品を生産しています。1999年4月にはISO14001の認証を取得し、その後モリサイクル率の向上、廃棄物の削減等の目標を立てて取り組み、それらの活動をグリーン・ポリシーと合わせて環境レポートにまとめています。またアメリカでは、世界に先がけた化学物質の管理・規制がEPA(Environmental Protection Agency)主導で進められており、その指導に準拠した化学物質の使用・管理を励行しています。なかには、排水中の銀濃度の低減、排ガス中の化学物質の除去率向上等、技術的に難易度の高い要請も多く、その解決のための新規技術の開発、導入も積極的に行っています。そのほか、Saluda川の水質保全を目的とした研究に対するの援助や、所有地内の野生動物保護プログラム(W.A.I.T Wildlife And Industry Together)に参加し、成果が認められ認証を受けました。これからも地域と密着して豊かな自然を共通財産として守る活動を繰り返し続けていきます。